

目次

序 詞 正史の完全犯罪を推理する……………4

第一章 「凍れる音楽」の裏舞台 薬師寺論……………9

僕の知っているギリシアの迷路なんかたった一本の直線でできている。ボルヘス

本薬師寺と天皇制11 / 薬師寺縁起と正史の齟齬15 / 大田皇后と持統中宮

17 / もうひとつの薬師三尊像21 / 二つの薬師三尊像の铸造時期26 / 大田皇

后と齐明陵30 / 結語35

第二章 薬師寺論の新展開 淵源論……………39

歴史は嘘、去つてゆくものは嘘、そしてあした来る、鬼だけはほんと！ 寺山修司

九州から薬師寺の出現42 / 長江王権と列島王権47 / 九州薬師寺と天武の発願

51 / 『吉山旧記』と薬師寺姓54 / 九州の廃仏毀釈と元興寺58 / 天武体制へ

の抵抗61 / 結語64

第三章 天磐船と戦後史学 舟葬論……………67

目は手のすることを見ぬ振りをしていろ。シェークスピア

松岳山古墳と船王後墓誌 68 / 天磐船の降臨地 73 / 舟葬論と小林行雄 78 / 正史の沈黙と玉藻刈り 83 / 線刻画・装飾古墳のモチーフ 87 / 舟形石棺の分布とその移動 90 / 考古学と文献史学の共犯関係 96

第四章 倭国の韓影 出自論……………99

いわば一国の首都が風のように自由に移動していく
といった感じを思い浮かべればいだろう 五木寛之

列島神話の歴史奪回 102 / 「盗まれた国家」と天孫降臨年代 105 / 天孫降臨と神武東征年代の確定 109 / 伽耶と天孫の関係 113 / 皇統のねじれと渡来時期 117 / 金在鵬の百濟真氏論 123 / 皇統の聖宗と真宗 127

第五章 隠された王国 吉備国論……………131

圧された植物が化石となった風貌を、窺おう。 埴谷雄高
吉備津采女の悲劇 133 / 天武と広型銅矛(劍) 文化圏 137 / 吉備王国の屈折
139 / 吉備国の祭神と大和朝廷 141 / 雄略天皇と吉備王国の変質 145 / 蘇我氏の
吉備進出 148 / 「真金吹く吉備」の美作 150 / 蘇我仏教と五反田廃寺 152 / 上宮
王家の古寺址 155 / 委奴国から天武への流れ 158 / 結語 160

第六章 皇統の南船北馬 興亡論……………165

すべてを所有している時に社会を否定するのは、最上の贅沢である。ロマン・ロラン

戦後史学と記紀の歴史射程 168 / 東アジア民族移動と列島社会 171 / 国譲りと南

船北馬 173 / 出雲大社の再建と天武皇子の変 176 / 天武の外戚・物部系大氏の運

命 183 / 春日信仰と皇大神宮 188 / 天武と中臣氏の正体 191 / もうひとつの皇統

の終焉歌 198

終章 鬼と天狗の原像 原差別論……………203

われ、快力乱神を語らず。孔子

列島の南船北馬の興亡 208 / 鬼の誕生と朱鳥の変 213 / 天狗と大善寺玉垂宮

216 / フェイクとしての藤原王朝 223 / モノからオニへ 227 / 肅清地としての大

和飛鳥 230 / 「鬼は外」と原差別 235

結語 正史のバンドラの箱は開いたか……………237